第 34 号
平成26年12月1日
（隔月発行）

発行：西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ　〒188-0012　東京都西東京市南町 5-6-18 イングビル１階

# 第６回　NPO 市民フェスティバル

## ～あなたのやる気で、まちを元気に!!～

## 11 月 22 日(土)　10：00～16：00　きらっと

11 月 22 日（土）開催の第 6 回 NPO 市民フェスティバルは、参加 77 団体、今回のテーマ「あなたのやる気で、まちを元気に!!」にふさわしく、参加団体と市民が一体となり活況を呈しました。

武蔵野大学学生ボランティアの司会で、開会の後、丸山市長による市民活動への激励の挨拶に続き、本格的なジャズ演奏、ゆるキャラと子どもたちのマーチなどステージパフォーマンスがあり、盛り上がりました。

今回の特徴として、展示スペースもゆったりと取れ、各団体がそれぞれ工夫を凝らして、活動内容を紹介していたことや地元グループ WEST FIELD のジャズ演奏やスポーツパフォーマンスも加わり、大人から子供まで楽しめるフェスティバルになったと好評でした。

▲委員長挨拶　▲市長挨拶　▲司会進行

▲団体が作ったセーターを着た子どもたち

▲　団体によるスポーツパフォーマンス

展示会場では、国際協力、男女共同参画、子どもの健全育成、社会教育・まちづくり、保健・医療・福祉、環境保全、学術・芸術・文化・スポーツ、人権擁護・平和推進の分野に分かれて終日展示し、参加団体の熱心な説明をするところで見られました。

▲展示会場の様子

午後からは、きらっと１階で団体によるスポーツパフォーマンスが初めて行われました。（写真は左下）

第２回西東京おとうさんお帰りなさいパーティーは、午前中の料理教室で作ったスリランカカレーの昼食会で和気藹々に始まり、午後は展示会場をまわる「おとぱツアー」で参加団体の説明を聞き、振り返りで今後の地域デビューのフォローアップについて話し合いました。おとぱツアーでは各団体、熱心に説明をしていただき、ツアー参加者から西東京市の市民団体の活動内容が理解でき、地域活動デビューに役立つと大好評でした。

## ♥♥ゆめこらぼ事業・活動紹介♥♥

### 協働を考えるシンポジウム
### 「緑×協働＝コミュニティ　～テーマ型コミュニティづくり～」

10 月 24 日(金)に保谷庁舎で協働を考えるシンポジウムを開催し、行政と市民活動団体から 56 人が参加、NPO 法人 birth 事務局長の佐藤留美さんが「緑×協働＝コミュニティ～テーマ型コミュニティづくり～」をテーマに基調講演を行い、実際に三鷹市の閑静な住宅街で高齢化が進み使われなくなった古い公園を改修することを引き受け、住民や市民団体が一緒になって「スポットガーデン」を企画、造園、運用、利用している例をあげ、一連の流れによってコミュニティ創出へ結びつくことを講演し、シンポジウムの口火を切りました。

パネリストのNPO法人花と緑のまち三鷹創造協会の鴨下剛氏、西東京農地保全協議会の若尾健太郎氏、NPO 法人西東京花の会の水井高志氏、西東京市みどり公園課長の高井譲氏、西東京市協働コミュニティ課長の古厩忠嗣氏が活動やまちづくりの考え方を紹介し、次に参加された方からの質問に答える形でパネリストからご意見をいただきました。一部内容を以下にご紹介いたします。

・皆が楽しめることや植樹方法を教えながら人材の育成を図ることなどにより、ボランティアも集まり、活動を継続することができます。

・緑のまちづくりについて行政と市民活動と協働して進めています。大規模な活動だけではなく、小さな拠点を基地にして進めていくことも大切です。

・「緑×協働」という相乗効果により創出されるコミュニティにははかり知れない可能性があります。

最後にコーディネーターの佐藤留美さんから多くの市民や市民団体が参加する「緑×協働」からは何倍もの win-win の効果が期待できるとの言葉で結ばれ、盛況のうちに終了しました。

### ゆめサロン
### 会社生活から地域社会へ

11 月 22 日（土）に開催の「お父さんお帰りなさいパーティー（以下、おとぱ）」に先立って、10 月 25 日（土）に「会社生活から地域社会へ」と題して、ゆめこらぼサロンコーナーで開催されました。講師は長年、団塊世代の交流に携わってこられた、団塊ネット西東京代表の秩父誠氏です。

おとぱとは、仕事一筋に働いてきた方が、定年退職等で会社生活にピリオッドを打ち、生活をする地元で自分の居場所や、生きがい、やりがい、仲間探しなどのお手伝いをする企画です。

講演は、生い立ちから会社生活の話に始まり、地元へ帰ってきてから、好きな映画を通しての団塊世代との交流経験や東久留米市で始めたその活動を西東京市でも広げたいという抱負などを話してくださいました。ゆめサロンならではの少人数の参加者で、気のおけない質問に終始和やかなサロンとなりました。

### NPO 市民活動ネットワーク
### 市民団体・NPO 団体の活動報告＆交流会

11 月 20 日（木）柳沢公民館「みんなで考えよう！わたしたちの未来　まちづくりステップアップ講座」受講生とゆめこらぼ、ゆめこらぼ登録の NPO 法人 3 団体、柳沢北口商店街との交流会が行われました。

ゆめこらぼの紹介の後、市内で 10 年～20 年に亘って活動している NPO 法人サポートハウス年輪、NPO 法人生活企画ジェフリー、NPO 法人まちかど保健室と柳沢北口商店街が講師となって設立経緯や活動報告を 5 分ずつ行いました。

４つのグループに分かれた受講者の間を 4 人の講師が順番に回って、受講者の質問に答えたり、補足説明等を行ったり、活発なやり取りが行われました。

受講者からはデイサービスや振り込め詐欺の最新状況、柳沢でのまちゼミ、こどもに関する最近の深刻な相談内容や対応状況、女性進出に対する若年層の反発といった講師の話に聞き入っては頷いていました。

まとめでは、このような企画ができる公民館を大切にしたい、これから自分たちで何かやれることを見つけたい、長く続けるヒントがあった、家族ぐるみで協力できるようにしたい、などの発表がありました。

## ◆◆登録団体活動紹介◆◆

### NPO 法人 ALD の未来を考える会
### おもてなしコンサート

10 月 4 日（土）、コール田無多目的ホールで NPO 法人 ALD の未来を考える会主催の「おもてなしコンサート」が開催されました。

ハーモニカによる「情熱大陸」の演奏で始まると、すぐに会場は盛り上がり、途中、代表の本間さんより、スライドで副腎白質ジストロフィーの説明や活動紹介もありました。後半は MusicBox が今話題の妖怪ウオッチやオリジナル曲の演奏をしました。会場には笑顔が溢れ、演奏を楽しんでいる様子が伝わってきました。歌詞のように、みんなが手を繋いで、素敵なハーモニーが生まれ、明日へと響いていくようでした。あたたかく、ふんわりとした今日のコンサートで、障がいのある人もない人も、赤ちゃんも子ども、お年寄りも誰もが一緒に楽しめる大切さを学びました！

団体サイト URL:http://www.ald-family.com

### 傾聴ボランティア きずな
### 家族で『傾聴』できていますか？

10 月 31 日(金)会場に用意された 100 席がほぼ埋まり、傾聴ボランティアの提唱者である鈴木絹英さんの講演が始まりました。

講演の要点は次の３点でした。①人が一番感動するのは、真剣に話を聴いてもらえることなので、傾聴ボランティアは生きる力を支える活動である。②傾聴ボランティアはボランティアであっても認知症や寝たきりになりにくいことなど報酬はちゃんとある。脳科学でも証明されている。正に情けは人のためならずである。③傾聴とは五感をフルに使い、深い思いやりと温かい心で、相手の話を一生懸命聴き、聴きたいという態度と心が伝わって初めて成り立つこと。

ただでさえ他人の話を聴くことは難しいですが、家族の傾聴が最も難しいということは納得できます。しかし家族の話に傾聴的態度で耳を傾けると、5 分でも 10 分でも効果が感じられるそうです。それならやれそう、挑戦してみよう！という気持ちで会場を後にしました。

### 東大農場・演習林の存続を願う会
### 「子ども樹木博士」に挑戦しよう！！

第 25 回西東京「子ども樹木博士」認定会（東大農場・演習林の存続を願う会共催）が 10 月 26 日（日）東京大学田無演習林で開催されました。子ども樹木博士を目指す 31 名の子ども達があつまり、午前中は東京大学の先生や学生のお兄さんやお姉さんが樹木の特徴を分かり易く説明し、午後は木の名前当て試験、ネイチャークラフト作りなど自然とのふれあい満載でした。入門コース、挑戦コースと博士コースに分かれ、子ども達がレベルアップしたコースを受け、何回も参加できるようになっていました。演習林の樹木を見ながら、木葉の匂いを調べたり、葉についている虫などを見たり、樹木の知識を高め、最後に認定書のご褒美を受けて親子で一緒に自然を楽しんでいました。自然を味わえる講座でした。

### 西東京市環境サポーターはちどりの会
### 講演会「PM2.5 とその健康への影響」

近年騒がれた PM2.5。中国で最近発生したものだと思っていませんか？日本では以前から警鐘が鳴らされていました。11 月 15 日(土)、谷戸公民館で西東京市環境サポーターはちどりの会主催の講演会が開かれ、講師の谷口捷生さんがデータを駆使して説明したところによると、ぜんそく発生率の増加・自閉症児の増加・男性の精子数の減少等、大気汚染とこれらの現象には関連性がみられるようです。ちなみに西東京市は大気汚染率が東京都のトップ、ぜんそく発生率も高レベルで、西東京市に住む私達には他人事ではありません。日本の環境基準は数十年変わらず、クリーンと名がついていながら研究の浅いディーゼル車もまた増えています。放射能の問題と同様、一方的な情報に惑わされずにデータを精査し、多角的に受け止め、環境の悪化にタイムリーに気づき、対応策を取ることの重要性を再認識しました。

### （仮称）地域協議体 南部モデル地区会議 H26 年度第 3 回
### 学習会【先進市事例の視察】

西東京市協働コミュニティ課では、昨年度から南部モデル地区での(仮称)地域協議体づくりを目指して検討を進めています。

今回は、先進市の事例を学ぶため、15 年前に調布市で初めて地区協議会を立ち上げた石原地区協議会の役員会を 11 月 11 日（火）に南部モデル地区会議メンバー14 名と市職員 6 名で視察しました。

平日夜間にもかかわらず約 20 団体・機関の代表が続々と駆けつけ、挨拶もそこそこにテキパキと議事進行が行われ、きっかり 1 時間で会議は終了しました。

会議では、参加者すべてが発言し、それぞれの活動を中心に情報交換を行い、お互いに協力できることがあるかどうかといったことにも踏み込んでいました。

協議会が長続きしているコツを尋ねると、連絡と広報に特化して、時間も 1 時間に決めて開催しているとのこと。短時間でお互いにとって有用な会議になっていることが実感でき、有意義な視察でした。

### ゆめサロン 次回のご案内
### 「知ることから始まるバリアフリー」

◆日時：12 月 8 日（月）10：30～12：00
◆場所：ゆめこらぼサロンコーナー
◆講師：ぶーけ（西東京市障がい児の自立を考える保護者の会）

### 新たな登録団体＜2014 年 9 月～10 月＞

◆東京都介護福祉士会西東京ブロック会

目的：全ての人々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられることのできる福祉社会を実現し日本介護福祉士会の理念に基づき高齢者及び障害者等福祉ニーズを有する人々に最適なサービスを提供するため、それぞれの福祉サービスの質の向上、地域福祉に寄与する。

◆ままペンシル

目的：子育て世代のメンバーが中心となり、身近なところから「まちづくり」に取り組む活動を応援する。

＜2014 年 10 月末現在で 121 団体になりました＞

### みんなの本棚

「声に出して読みたい論語」斎藤孝著
出版社：草思社

新しいサークル「論語と書」を立ち上げ、無事船出した。世界三（四）大聖人の一人である孔子の「論語的世界」を参加メンバーの人生経験に照らして、音読・素読・唱和と更には書き写すことで、深く味わって欲しいとの想いで始めたものだ。だから、本サークルは論語研究会や書道教室でもない。本書がテキストだ。著者は、「声に出して読みたい日本語」で声に出して読むことの火付け役となった。本書は、古典中の古典と言われる“論語”を声に出して読むことを勧める１冊である。論語の約 500 章句のうち 100 章句が取り上げられている。「以下例文」

「一言にして以て修身これを行うべき者ありや。
子曰わく、其れ恕（筆者注：恕とは、思いやり）か。
己の欲せざる所、人に施すこと勿れ。」

意味が分からなくても、是非、声に出して読んで欲しい。一度ならず、何度も繰り返して・・・。漢文の歯切れの良さ、リズム感が体感されよう。音読・素読は脳の活性化にも良い効果があると言われる。皆さん、挑戦されてみてはいかがでしょうか。

（柳沢在住　武田 五郎氏）

### 編集後記

ハロウィンが年々、盛り上がりを見せています。ゆめこらぼ主催イベントも協働を考えるシンポジウムを始め参加者が増えて来ています。これも NPO の皆様の熱意が伝わってきた結果です。NPO 市民フェスティバル／お父さんお帰りなさいパーティーも無事終了し、この流れで年度末まで継続して盛り上げていきたいと思います。皆さまのご協力をお願いします。

西東京市 市民協働推進センター ゆめこらぼ
〒188-0012 西東京市南町 5-6-18 イングビル 1 階
Tel:042-497-6950 Fax:042-497-6951
E-mail:yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
http://www.yumecollabo.jp/
ゆめこらぼ
モバイルページ
開館時間 午前 10 時～午後 9 時
休館日 毎週火曜日（祝日の場合は開館し次の平日が休館日）